

## 4 企業会計

### 公営企業局

#### 水道事業会計

##### 主な収益の推移

(単位:千円)

項目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算	前年度増減
給水収益	8,681,492	※7,913,935	8,576,424	8,482,020	8,275,434	△ 206,586
分担金	368,458	300,045	307,247	236,470	249,713	13,243

※ 令和4年度は、基本料金の減免を実施

## 水道事業会計

### 尼崎市の水道

通水開始時期	大正 7 年	
配水能力	314, 971 m <sup>3</sup> /日	
配水管延長	1, 010 km	
給水戸数	252, 700 戸	
年間総配水量	52, 319, 000 m <sup>3</sup>	(前年度比 +0. 5%)
1 日平均配水量	143, 340 m <sup>3</sup>	
年間総給水量	47, 499, 000 m <sup>3</sup>	(前年度比 -0. 8%)
1 日平均給水量	130, 134 m <sup>3</sup>	
阪神水道企業団		
1 日平均受水量	113, 711 m <sup>3</sup>	(前年度比 +0. 6%)

- (1) **水道事業の施設のあり方** 172, 668  
公営主要 (43, 956)  
P3 節水機器の普及や人口減少に伴う水需要の減少により、施設能力と水需要との乖離が広がることが見込まれる中、将来の投資や維持管理費用の縮減を図りつつ、水道水の安定した供給を継続する。
- ・ 神崎浄水場活性炭吸着池弁類更新設計業務委託
  - ・ 柴島取水塔連絡橋耐震工事
  - ・ 神崎浄水場再整備アドバイザー業務委託 等
- 債務負担行為 (7 年度提出分) 金額 168, 262



神崎浄水場 供用開始：大正 7 年

- (2) **管路の計画的更新と維持管理** 1, 318, 713  
公営主要 (1, 710, 587)  
P5 「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対症的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取り組みを推進する。
- ・ 配水管整備工事 7. 7km  
基幹管路の耐震化率 見込み 53. 5%
  - ・ 維持管理点検及び維持管理工事



配水管更新工事

- (3) **配水ブロック化 (市内配水エリアの整理)** 2, 134  
公営主要 (46, 698)  
P6 配水ブロック化 (市内 20 ブロック) に取り組み、水の流れを単純化し、平時の漏水の把握や大規模災害時の断水解消への対応の迅速化を図るとともに、課題となる猪名川浄水場の機能集中の改善を目指す。
- ・ 配水ブロック化 (4 ブロック)
  - ・ 水道管路施設管理システム改修

- (4) **水源水質の保全・水質管理の徹底** 102, 692  
公営主要 (22, 924)  
P7 琵琶湖・淀川水系の水源水質の保全に取り組むため、淀川から取水する水道事業者と連携して、早期の水源の異常を発見し、迅速に対応する。水道水の安全・安心を確保するため、水安全計画及び水質検査計画の運用を通じて、水源からじゃ口に至るリスクの未然防止や適切な対応等を講じ、水質管理の徹底を図る。
- ・ 活性炭入替
  - ・ 水質分析機器等の購入

(5) **鉛製給水管の解消**

228, 656

鉛製給水管は、水道水の長時間滞留で鉛成分が水中に溶け出すことにより水質基準を超過する可能性があり、健康への影響が懸念されることや、漏水の発生を抑制するため、公道部の鉛製給水管の取替工事を行う。

(245, 837)

- ・公道部の鉛製給水管の取替工事 (561 か所)

(6) **応急給水拠点の充実**

31, 008

公営主要 災害などによる断水時にも水道水を供給するために、避難所となる市内  
P8 の小中学校等に「応急給水栓」を整備する。

(33, 391)

また、市民の皆様が自身で応急給水拠点の開設を行えるよう、整備済みの拠点において定期的な訓練を実施する。

- ・応急給水拠点の整備 (6 か所)
- ・応急給水拠点での訓練実施 (15 回程度)



応急給水栓とベンチ式倉庫

(7) **経営の効率化**

3, 131

公営主要 お客さまサービスや業務効率の向上を図るため I C T の利活用を推進するな  
P9 ど、更なる経営の効率化に取り組む。

(6, 414)

お客さまからの電話による問合せ内容を A I 分析により、課題を可視化することで、チャットボットなどの問合せ対応の改善につなげる。また、水道施設情報管理システムを更新し、機能面の充実とともに経費の削減を図る。

- ・チャットボットの改善
- ・水道施設情報管理システムの更新
- ・完成図書電子化
- ・スマートメーター導入実証実験

債務負担行為 (7 年度提出分) 金額 50, 141

(8) **広報・広聴 (ウォーターニュースあまがさき発行ほか)**

4, 388

市民のライフラインである水道の大切さを市民に改めて認識していただくとともに、事業に対する理解を一層深め、親しみを持っていただくため、広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行などに取り組む。

(4, 174)

- ・広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行
- ・市民まつりにおける啓発 等



ウォーターニュースあまがさき

(9) **阪神水道企業団等からの受水に要する経費**

3, 899, 973

用水供給事業者である阪神水道企業団 (神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、明石市) 及び兵庫県からの受水等に係る経費

(3, 937, 573)